

講義日時	2018年9月26日（水） 10:00～12:00
講義タイトル	1. ブロックチェーンの教科書／仮想通貨の作り方 2. 新しい資金調達の形／ICO の課題と未来
講義概要	ブロックチェーンの基礎知識としての構造や仕組みから、ブロックチェーンを応用したアプリケーション基盤「Ethereum」について学びます。「仮想通貨」や「トークン」と呼ばれる価値移転の仕組みを実際に Ethereum 上での実装を通して理解します。「通貨とは何か？」を通貨が持ち得る機能の面から読み解くと同時に、法的な扱いとの関連性を考察します。 2017年には仮想通貨やトークンによる資金調達が盛んに行われました。トークンによる資金調達はどのように行われているのか？また、その課題についてを議論をします。それら課題に対する解決の方法論として提案されているいくつかの手法についても講義を行います。 参考図書： はじめてのブロックチェーン・アプリケーション Ethereumによるスマートコントラクト開発入門 (DEV Engineer's Books) 単行本（ソフトカバー）－2017/8/3
受講者へ一言	ブロックチェーン技術はここ数年で台頭してきた技術であり10年選手がいない世界です。「ブロックチェーン技術」と言っても、分解してみると「暗号技術」と「分散技術」の足し算を応用したものです。いまから勉強すれば十分に追いつくことができます。1990年代にインターネットが出現して以来の革新的技術を今からしっかり学んでおくことで、技術の波を捉える良いタイミングに来ていると考えます。

講師情報

講師氏名	西村 祥一	
講師氏名よみ	にしむら よしかず	
所属・役職等	世界ブロックチェーンプログラミングコンテスト優勝 株式会社コンプス情報技術研究社 代表取締役	
略歴等	自然言語処理・機械学習などの学術系案件の開発・コンサルティングを行うと共に、ブロックチェーン技術を用いた開発に取り組んでいる。自社開発のスマートフォン向け仮想通貨ウォレット「タキオン (Tachyon)」 https://tachyon-wallet.io を公開している。Global Blockchain Summit2016ではブロックチェーン技術による位置情報プラットフォームを提案し、Best Innovation Awardを受賞。共著に「はじめてのブロックチェーンアプリケーション～Ethereumによるスマートコントラクト開発入門」（2017年、翔泳社）がある。	